

項目： 診断画面の表示方法  
(Fs-31i-B5)



倉敷機械(株)営業技術課 FAX (0258) 35-3074  
 新潟地区 TEL (0 2 5 8) 3 5 - 3 0 6 1  
 東京地区 TEL (0 3) 6 7 5 8 - 7 9 0 5  
 大阪地区 TEL (0 6) 6 2 6 2 - 4 0 0 3  
 広島地区 TEL (0 8 4) 9 2 0 - 1 9 2 4

診断画面の表示方法

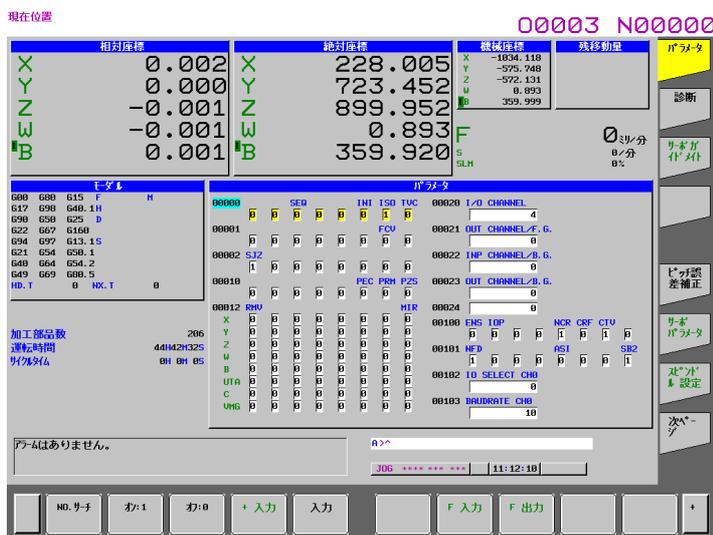
CNCの状態を確認するための「診断」画面表示方法を説明いたします。

- 機能キー **SYSTEM** を押す。

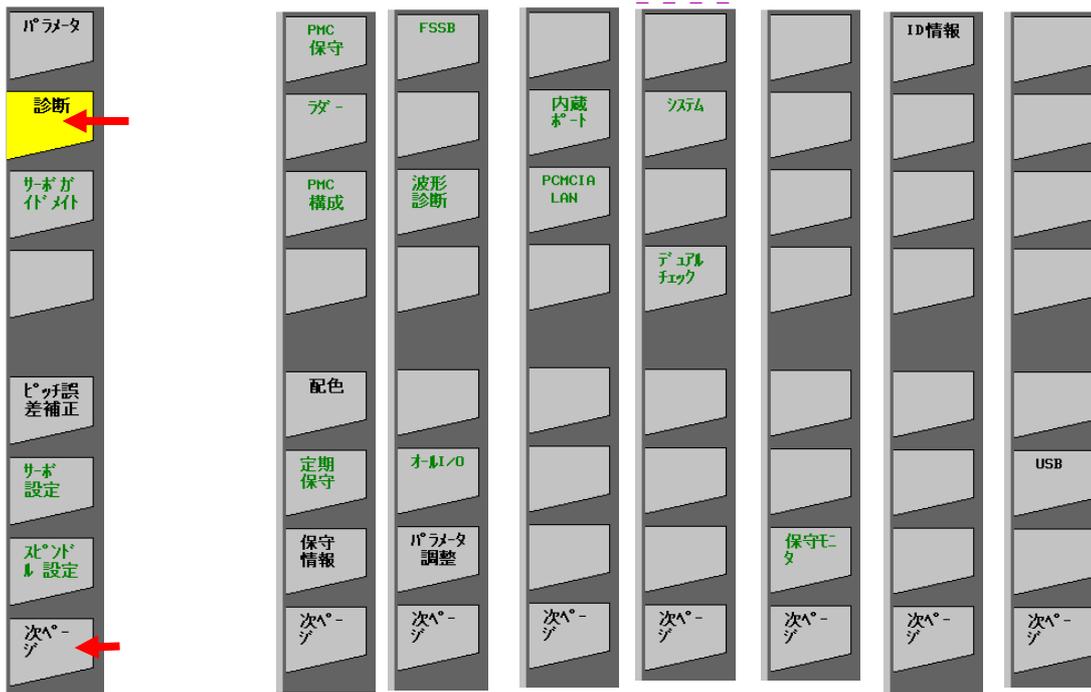


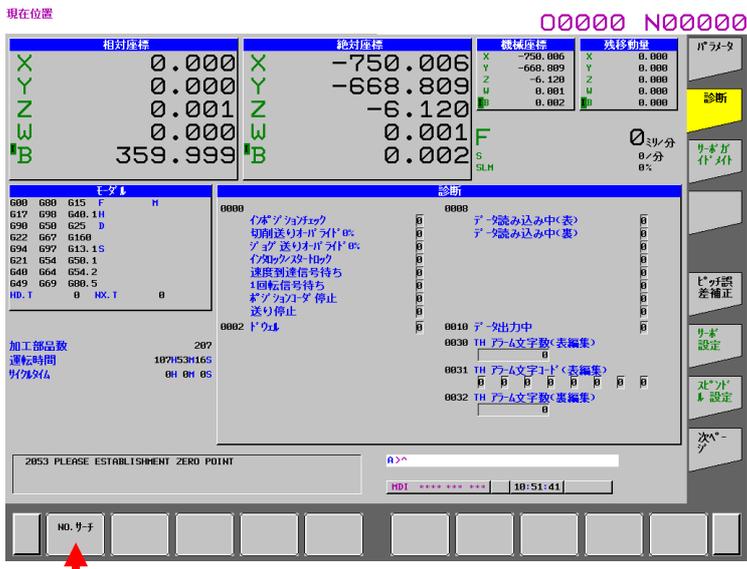
縦ソフトキーの  
“診断”を押します。

縦ソフトキーに  
“診断”の表示が無い場合  
縦ソフトキーの  
“次ページ”を押します。



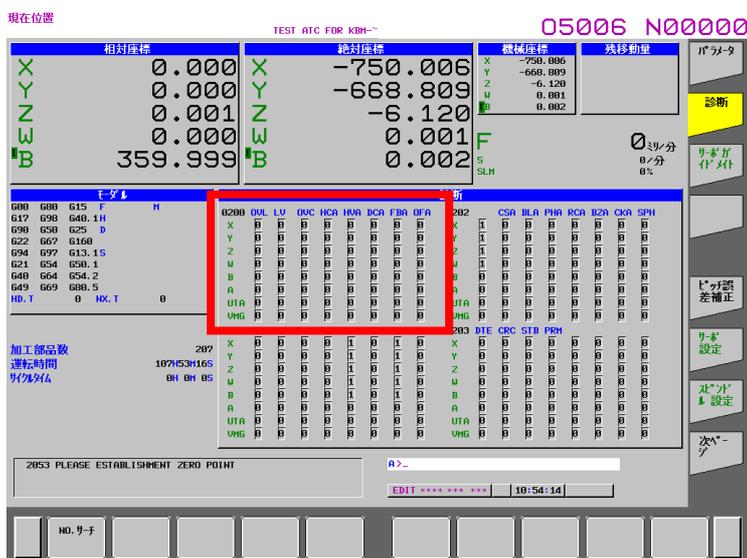
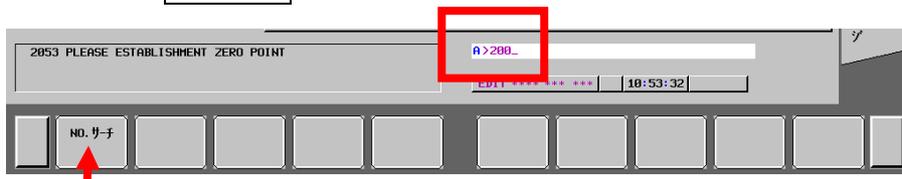
※ 縦ソフトキーの“次ページ”を押すと、多数の縦ソフトキーが表示されます。





2. 調査したい診断番号    を入力して  を押すと表示されます。

※ No. 200を呼び出す例……………数値キーで“200”をキー入力し、横ソフトキーの  を押します。



診断の“1”が表示されているところを調査します。

ビットの意味 (診断No. の右側に “0” または “1” が8個並んでいるところ)

7ビット    6ビット    5ビット    4ビット    3ビット    2ビット    1ビット    0ビット

0            0            0            0            0            0            0            0

<参考> (ファナック保守説明書より抜粋)

NO. 200 (シリアルパルスコーダのアラーム詳細)

0ビット (OVC) : オーバフローアラーム

1ビット (FBR) : 断線アラーム

2ビット (DCA) : 放電アラーム

3ビット (HVA) : 過電圧アラーム

4ビット (HCA) : 異常電流アラーム

5ビット (OVC) : 過電流アラーム

6ビット (LV) : 不足電圧アラーム

7ビット (OVL) : オーバロードアラーム

	7ビット	6ビット	5ビット	4ビット	3ビット	2ビット	1ビット	0ビット
No. 200	OVL	LV	OVC	HCA	HVA	DCA	FBA	OFA

No. 201

4ビット (EXP)

7ビット (ALD)

No.200 の状態		ALD	EXP	内容
OVL “1” のとき	オーバロードアラーム	0	—	モータオーバヒート
		1	—	アンプオーバヒート
FBA “1” のとき	断線アラーム	1	0	内臓パルスコーダ断線 (ハード)
		1	1	別置パルスコーダ断線 (ハード)
		0	0	パルスコーダ断線 (ソフト)

6ビット (PCR) : 手動リファレンス点復帰を行う際に、位置検出器の1回転信号をとらえました。手動リファレンス点復帰用グリッドが確立したので、手動リファレンス点復帰が可能です。

※このビットは手動リファレンス点復帰モード動作を開始しないと、意味を持たない。

## No. 202

0ビット (SPH) : シリアルパルスコードまたは帰還ケーブルの異常です。

帰還信号のカウントを誤りました。

1ビット (CKA) : シリアルパルスコードの不良です。

内部ブロックが停止しました。

2ビット (BZA) : バッテリの電圧がゼロになりました。

バッテリーを交換し、リファレンス点を設定してください。

3ビット (RCA) : シリアルパルスコードの不良です。

回転数のカウントを誤りました。

4ビット (PHA) : シリアルパルスコードまたは帰還ケーブルの異常です。

帰還信号のカウントを誤りました。

5ビット (BLA) : バッテリの電圧が低下しています。(警告)

6ビット (CSA) : シリアルパルスコードのハードウェアの異常です。

7ビットはなし ("0")

	7ビット	6ビット	5ビット	4ビット	3ビット	2ビット	1ビット	0ビット
No. 202		CSA	BLA	PHA	RCA	BZA	CKA	SPH

## No. 203

0～3ビットはなし ("0")

4ビット (PRM) : デジタルサーボ側で検出したパラメータ不正です。(診断No. 352  
に記載の原因と対策を参照してください。)

5ビット (STB) : シリアルパルスコードの通信異常です。

転送されたデータに誤りがあります。

6ビット (CRC) : シリアルパルスコードの通信異常です。

転送されたデータに誤りがあります。

7ビット (DTE) : シリアルパルスコードの通信異常です。

通信の応答がありません。

	7ビット	6ビット	5ビット	4ビット	3ビット	2ビット	1ビット	0ビット
No. 203	DTE	CRC	STB	PRM				

## No. 204

0～2、7ビットはなし ("0")

3ビット (PMS) : シリアルパルスコードC、またはフィードバックケーブルの異常により、  
フィードバックが正しくありません。

4ビット (LDA) : シリアルパルスコードのLEDの異常です。

5ビット (MCC) : サーボアンプの電磁開閉器の接点が溶着しています。

6ビット (OFS) : デジタルサーボの電流値のA/D変換の異常です。

	7ビット	6ビット	5ビット	4ビット	3ビット	2ビット	1ビット	0ビット
No. 204		OFS	MCC	LDA	PMS			

## No. 205 (別置式シリアルパルスコーダのアラーム詳細)

0ビット (SPH) : 別置パルスコーダでソフト位相データ異常が発生しています。

1ビット (PMA) : 別置パルスコーダでパルスミスが発生しています。

2ビット (BZA) : 別置パルスコーダでバッテリー電圧がゼロになりました。

3ビット (CMA) : 別置パルスコーダでカウントミスが発生しています。

4ビット (PHA) : 別置リニアスケールで位相データ異常が発生しています。

5ビット (BLA) : 別置パルスコーダのバッテリー電圧が低下しています。

6ビット (LDA) : 別置パルスコーダでLED異常が発生しています。

7ビット (OHA) : 別置パルスコーダでオーバヒートが発生しています。

	7ビット	6ビット	5ビット	4ビット	3ビット	2ビット	1ビット	0ビット
No. 205	OHA	LDA	BLA	PHA	CMA	BZA	PMA	SPH

## No. 206

0～4ビットはなし (“0”)

5ビット (STB) : 別置パルスコーダでストップビットエラーが発生しています。

6ビット (CRC) : 別置パルスコーダでCRCエラーが発生しています。

7ビット (DTE) : 別置パルスコーダでデータエラーが発生しています。

## No. 352 (サーボパラメータ設定不正アラームの詳細: サーボ側)

サーボパラメータ不正アラームの詳細番号を表示。

本診断情報は

1. サーボアラームNo. 417発生中。

2. 診断No. 203の4ビット (PRM) に “1” が表示している。

が発生しているとき有効です。

サーボパラメータ設定不正アラームの詳細内容はファナック F-31i の保守説明書を参照してください。

## No. 300 (位置偏差量)

X, Y, Z・・・それぞれの軸があり、軸ごとに位置偏差量が表示されています。

その他についてはファナック F-31i 保守説明書を参照ください。

以上